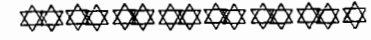


# セクト運動のための「小谷謀略」運動

## 日刊 動労千葉

80.11.9  
No. 全国版 71

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)三三八九(公衆)三三三二七三〇七



全国の動労組合員のみなさん！ 「本部」反動分子は、「小谷事件」を「権力の謀略」であるとして、革マル派を防御するために「水本謀略」と同じようにウソで動労組織を引きまわす「運動」を展開しています。そして、運動的に追い詰められた「本部」反動分子が動労千葉の組織破壊のために、この「小谷謀略」を利用して、このことも含め、この問題の本質と実態を明らかにしたいと思います。

### 悪どい利用主義

いま、現職の動労本部教宣部長が暴力襲撃されたことを、まるで「鬼の首でも取った」かのように喜々として、動力車新聞号外などを職場に持ち込み、そのことを通して動労千葉を破壊しようとする「本部」反動分子の実態は、動労千葉全組合員の嘲笑のまとなっています。

「自分の仲間がやられたことを悪どく利用するやり方は、労働組合じゃなし」

「合理化に率先協力し、労働者の弾圧処分を権力・当局に要請する『本部』反動分子に国家権力が謀略をかける必要があるのか。松崎をゴルフに引っぱり出せばどんな交渉だってまとまるじゃないか。」

これが職場・生産点の真実の声であり、全国の多くの動労組合員の正常な感覚なのです。

現に、「本部」反動分子が、「小谷謀略弾劾決議が地域によってアンバランスがある」と動力車新聞で泣いていることによっても、このことは裏付けられています。

### 誰も信じない「小谷謀略」

「本部」反動分子の動労機関を利用した恫喝と懐柔によって地方機関が何本決議をあげようが、そのようなことで労働者の目をくらますことにはきません。

「小谷事件」謀略」と主張しているのは、革マル派と「動労」だけであり、革労協は機関紙上で、「動労革マルのナンバー2・小谷」を襲撃したと言明しているのです。

また、「本部」反動分子が動力車新聞「号外」で、「小谷事件」謀略」としている根拠も、「刑事が自宅を張り込み」などという、全く薄弱なこじつけの理由であり、「謀略に関する闘争」を口



やかましく動労組合員に押しつける「本部」反動分子自身が、「謀略」などという内容を全く信じていないことを自ら告白する内容となっています。さらに、「本部」反動分子と革マル派が唯一成果として宣伝している「各県評」などの「弾劾声明」なるものも、東京地評のそれのように、「小谷事件を権力の謀略などと認めた事実はない。」という抗議をされ、「本部」反動分子のデッチ上げであることが暴露されているのです。

### 「動労」と革マル派の一体化策動

全国の動労組合員のみなさん！

いまや、「本部」反動分子の「小谷」謀略」というデマの実態は明白です。

このようなデマをもって、「第二の水本」的に動労をセクト運動のために引きまわす反動分子の策動を許してはなりません。

われわれは、この間、「本部」反動分子のセクト運動への動労組織の引きまわしを糾弾し闘ってきました。しかし、現に、革マル派機関紙「解放」66四〇(八〇年十月三日付)に、「動労青年部」と革マル派全学連が一〇・一九佐世保で連帯集会を開催し、中泉青年部長と革マル全学連委員長が、ともども、「小谷謀略」と反ファッショ統一戦線について決意を表明した」ということが出されているように、この「小谷謀略」の本質は、党派間抗争をも利用した「動労」と「革マル派」の一体化策動以外の何ものでもないのです。

乗務員運用合理化協力で組合員を当局に売り渡し、醜悪な「小谷謀略」をも利用し、当局と一体となって動労千葉の組織破壊を策動する「本部」反動分子の敵対を許さず、ついに、動労千葉は職場からの大衆的決起をもって、一一・一乗務員運用合理化攻撃を実力で粉碎しました。

今こそ「本部」反動分子を一掃し、動労大改革へ、共に闘いましょう。